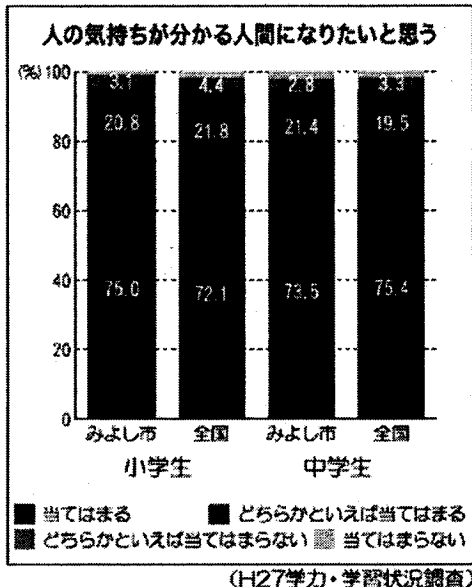


作戦⑧

子どもの心を育てる教育を大切にします



現状と課題



市内の小中学校では、以前より道徳の研究に力を入れてきました。平成30年には、全国で道徳は「特別の教科道徳」となり、教科化がスタートしました。

平成27年度に、子どもに「人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか」と尋ねたところ、9割を超える子どもが、「なりたい」と回答しました。今後も、道徳の授業などを最大限に活用し、家庭や地域とも連携を図りながら、子どもに思いやりの心を育て、互いの気持ちを想像することのできるあたたかいまちづくりを進めることが求められています。

重点 施策

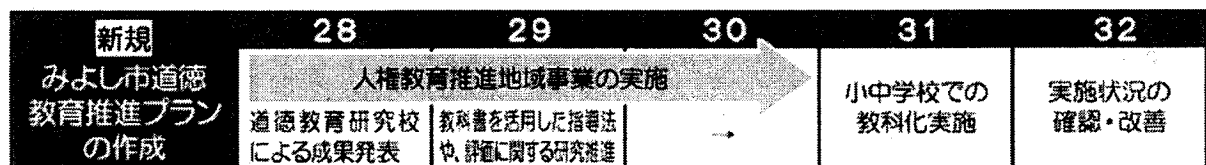
道徳教育の研究推進

[施策体系1-3-(1)ア P52]

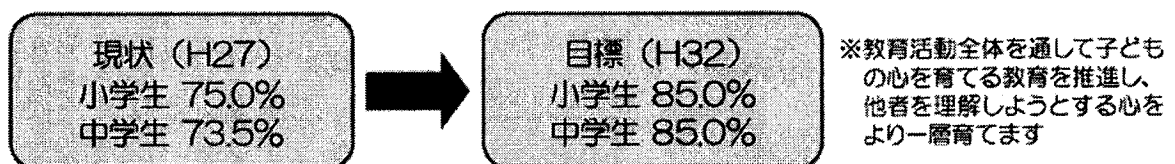
【施策の概要】

「特別の教科 道徳」を中心に、子どもの心を育てる教育を推進するために、みよし市道徳教育推進プランを策定し、家庭・地域と連携しながら、学校教育全体で発達段階に応じた道徳教育を推進します。また、新しく策定される教科書を活用した効果的な指導法や、子ども自身の振り返りに役立つような評価についても研究を進めます。

【進行計画】



【成果指標】「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」児童生徒の割合
(全国学力・学習状況調査【小6・中3】)



【達成状況】

重点施策		道徳教育の研究推進
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 南中学校が2年間の研究の成果を発表し、市内外に広く道徳教育の進め方を提案した。(10月) ☐ 三好丘中学校区の3小中(三好丘中・三好丘小・黒笹小)が連携して人権教育事業に取り組み、児童生徒・教職員の人権意識を高めた。
H29	達成状況	☐ 市主催による道徳教育推進教師研修会を実施(10月) ☐ 教科化に向けた検討会議を3回実施(8月、10月、12月) ☐ 市主催による新年教育研究大会で道徳に関する講演会を実施(1月) ☐ 三好丘中学校区の3小中学校が連携して人権教育事業に取り組んだ。 ☐ 三吉小学校が道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業を実施し、道徳の授業づくりや評価の在り方について力量向上に取り組んだ。
H30	行動予定	☐ 「特別の教科道徳」の実施に伴う年間指導計画の見直しと、指導方法や評価方法の在り方について協議する。 ・市主催による道徳教育推進教師研修会を実施する。 ・外部講師を招聘して道徳科の授業研究を実施している学校の研修計画を市内で共有し、他校からの参加を促す。 ・道徳科の授業づくりや評価の在り方について各校で研究を進めるための資料・書籍代金を助成する。 ☐ 三好丘中学校区人権教育推進地域事業の成果を新年教育研究大会で発表
	達成状況	☐ 市主催による教務・校務主任対象に、道徳の評価のあり方に関する研修会を実施(8月) ☐ 市主催による道徳教育推進教師研修会を実施(9月) ☐ 道徳科の資料・書籍代金を助成し、各校で授業づくりや評価の在り方に関する研究・検討を進めた。 ☐ 三好丘中学校区の3小中学校が連携して人権教育推進地域事業に取り組み、新年教育研究大会で成果発表を行った。
	学級経営者の意見(点検評価)の分析 H31に向けた改善	・外部講師を招聘して道徳科の授業研究を実施している学校の研修計画を他校に周知し、参加を促した。(年間16回) ・先進校が作成した「教材分析シート」を全市に共有する。
H31	具体化した行動予定	☐ 市道徳教育推進プランの作成
	達成状況	
H32	目標	☐ 市道徳教育推進プランの検討・改善
	達成状況	

【成果指標】「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」児童生徒の割合*

(全国学力・学習状況調査)

基準年(H27)	H28	H29	H30	H31	目標(H32)
小 97.3% 中 90.0%	小 96.7% 中 90.9%	小 96.6% 中 93.5%	小 96.5% 中 93.3%		小 98.0% 中 95.0%

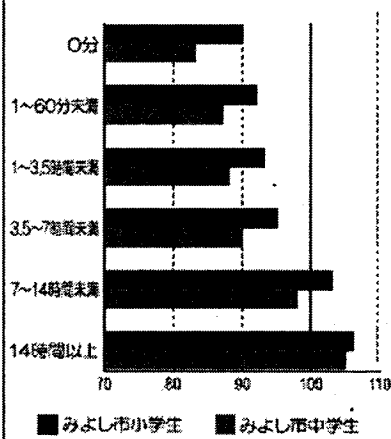
* 国の全国・学力学習状況調査の質問項目に変更があったため、基準年にさかのぼって成果指標を改めました。

※中学生には伸びがみられるが、小学生の内訳を見ると「強く思う」が減っている。子どもの心に届く指導・支援のあり方について研修・実践を重ねていく。

作戦③

たくましく健康な子どもを市全体で育てます

1週間の総運動時間と体力テストの結果との関連性（全国平均を100とした時）



（H27 学校教育調査調べ）

現状と課題



市内の小中学校では、体育の授業とは別に、運動会や体育祭などの学校行事を通して運動に親しめるようにしたり、子どもが企画するスポーツ大会や休み時間の外遊びを推奨したりして、運動する機会を積極的につくるようにしています。

左のグラフからも分かる通り、1週間の総運動時間が長くなると、体力が高くなる傾向があります。これからのみよしを支える子どもが、生涯にわたり健康でたくましく生きていくために、義務教育段階で運動の必要性や楽しさを伝え、仲間と共に積極的に運動に関われるようにする必要があります。

重点 施策

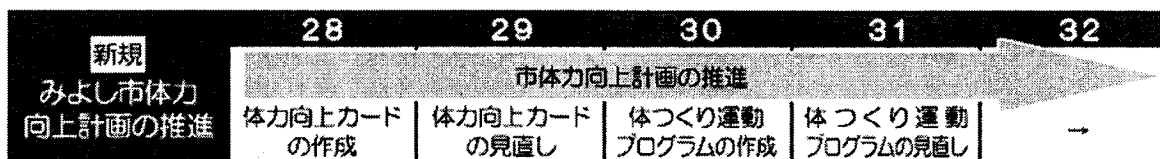
みよし市体力向上計画の推進

〔施策体系1-4-(C) P54〕

【施策の概要】

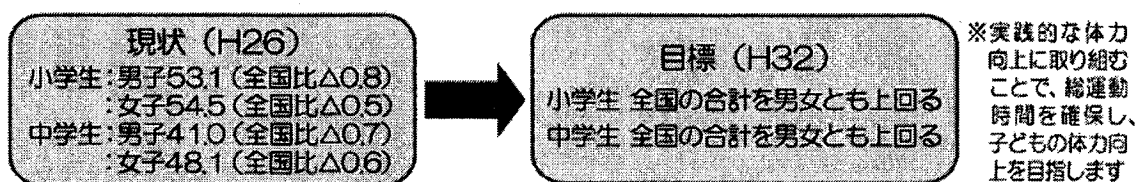
みよし市体力向上計画を作成し、子どもが生涯にわたって運動に親しむ素地づくりに努めます。この計画では、独自の体力向上カードを作成して子どもが自ら運動する環境づくりを進めたり、カリキュラムの研究を行い、発達段階に応じた体づくり運動プログラムを作成したりします。

【進行計画】



【成果指標】全国体力・運動能力調査の体力テストの合計点（全国との比較）

（全国体力・運動能力調査）



【達成状況】

重点施策		みよし市体力向上計画の推進
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 体力テストの結果を分析したり、各校から体育や体力向上のためのカードを収集したりした。(10月、12月) ☐ 市内の児童生徒や学校での取組の現状を把握し、体づくり運動の領域に絞って体力向上カードを作成した。 ☐ 子どもの体力向上課題対策プロジェクト検討委員による研修の実施。
H29	達成状況	☐ 各校から、体育科の各領域の学習カードをデータで収集した。現在、学習カードのデータファイルやウォーミングアップドリル案を作成中である。 ☐ 子どもの体力向上プロジェクト検討委員が作成した「体力向上プロジェクト」を市内小中学校へ配付し、活用を促した。体育の授業で活用された。 ☐ 子どもの体力向上のための「小4プロジェクト」講習会に、市内小中学校の教員41名が参加し、「走力」を高めるためのアクティビティを学んだ。
H30	行動予定	☐ 平成29年度に各学校へ配付した「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の見直し及び充実を図り、授業での活用を促す。 ☐ 「みよしっ子スポーツチャレンジ(仮)」を市のHPに掲載し、市内の学級対抗で大縄跳びの記録等を競い合えるようにする。
	達成状況	☐ 平成29年度に各学校へ配付した「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」の見直し及び充実を図り、授業での活用を促した。 ☐ 小学校では、児童会や高学年を中心に大縄跳び大会などを計画し、記録を競い合えるようにした。
	学級経験者の意見(点検評価)の分析 H31に向けた改善	・「ウォーミングアップドリルや運動遊び集」は、各学校における教材作成の負担軽減ともなる。さらに充実させ、活用を促していく。
H31	具体化した行動予定	☐ 体づくり運動プログラムの作成 ☐ 体力向上プロジェクトの見直し
	達成状況	
H32	目標	☐ 体づくり運動プログラムの見直し ☐ 体力向上プロジェクトの見直し
	達成状況	

【成果指標】 全国体力・運動能力調査の体力テストの合計点（全国との比較）

(全国体力・運動能力調査)

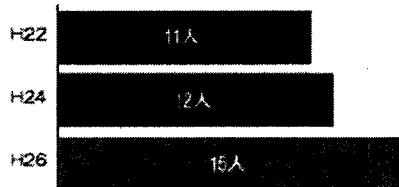
基準年(H26)	H28	H29	H30	H31	目標(H32)
小男：全国比 $\Delta 0.8$ 小女：全国比 $\Delta 0.5$ 中男：全国比 $\Delta 0.7$ 中女：全国比 $\Delta 0.6$	小男：全国比 $+1.1$ 小女：全国比 $+0.6$ 中男：全国比 $\Delta 0.9$ 中女：全国比 $\Delta 2.7$	小男：全国比 $\Delta 0.5$ 小女：全国比 $\Delta 0.3$ 中男：全国比 $\Delta 2.7$ 中女：全国比 $\Delta 1.8$	小男：全国比 $\Delta 1.4$ 小女：全国比 $\Delta 1.2$ 中男：全国比 $\Delta 1.6$ 中女：全国比 $\Delta 2.2$		小中・男女とも 全国を上回る

※小学生は男女ともに県平均は上回っているものの、全国平均は下回る。中学生は女子が県平均も下回っており、対策の必要がある。

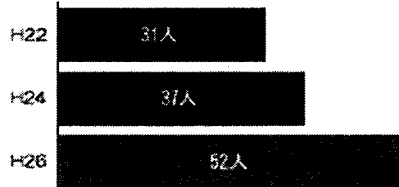
作戦⑩

個別の支援が必要な子どもを応援します

ふれあい教室登録数



日本語指導が必要な児童生徒数



(H27学校教育課調べ)

現状と課題



現在、みよし市教育支援センターでは、支援が必要な子どもとその家庭に対して、専門相談員による「教育相談」や、不登校児童生徒を対象とした「ふれあい教室」の開設などの支援を行っています。その対象となる子どもの数は、年々増えています。また、日本語指導が必要な子どもも、増加傾向にあります。

このような個別の支援を必要としている子どもや家庭のニーズを把握し、一人一人に応じたきめ細やかな支援を行うための体制づくりが求められています。

重点 施策

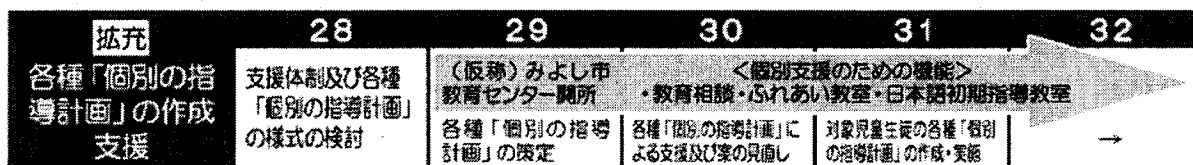
個別支援を要する子どもへのサポート体制の充実

[施策体系「5-（1）ア」P56]

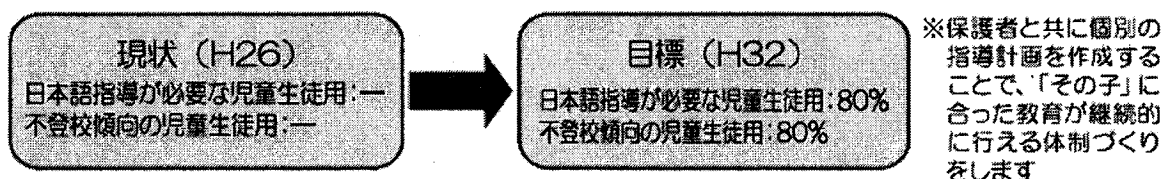
【施策の概要】

現在の教育相談・適応指導教室（ふれあい教室）・日本語初期指導教室を（仮称）みよし市教育センターで引き続き実施し、一人一人をきめ細やかに支援します。また、障がいのある子どもに作成している個別の指導計画を、日本語指導が必要な子どもや不登校傾向の子どもにも広げることで、学校の体制づくりや教員の資質向上を図り、学校やセンターでの支援が適切に行えるようにします。

【進行計画】



【成果指標】個別の指導計画の作成割合（市教育支援センターによる調査）



【達成状況】

重点施策		個別支援を要する子どもへのサポート体制の充実
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 日本語指導が必要な子どもや不登校傾向の子どもの支援体制を整え、個別の指導計画の様式を作成した。 ・子どもの在籍校の担当者が初期指導教室の利用状況を参観したり、指導者との情報交換を行ったりして、指導や情報の共有を図った。 ・不登校の未然防止・初期対応を図るため、ハートケア主任サポーターが必要に応じ学校や家庭に巡回指導を行った。
H29	達成状況	☐ いじめ・不登校対策委員会を二度実施し、各機関との連携体制について協議した。 ☐ 必要に応じてケース検討会議を実施し、不登校傾向の児童生徒に対し切れ目のない支援を行うために、指導・支援計画を作成した。 ☐ 日本語指導が必要な子どもの個別の支援・指導計画の様式を作成し、各校で該当児童生徒の個別の支援・指導計画の作成を進めた。
H30	行動予定	☐ 各種「個別の教育支援・指導計画」による支援及び内容の見直し ☐ 中学校から高等学校への「個別の教育支援・指導計画」の引継ぎを推進する。 ☐ 不登校児童生徒のための児童生徒理解・教育支援シートを作成し、支援の充実を図る。 ☐ ハートケア教育主任サポーターによる不登校児童生徒や学校への支援を充実させる。
	達成状況	☐ 「個別の教育支援計画・指導計画」による支援及び内容の見直しを図った。 ☐ 不登校児童生徒のための児童生徒理解・教育支援シートを作成した。 ☐ ハートケア教育主任サポーターによる不登校児童生徒及びその保護者の支援をした。
	学識経験者の意見 (点検評価)の分析 H31に向けた改善	・不登校、発達の課題、特別支援教育に対する相談・支援の要望が多いため、個別のニーズに対応する支援体制の整備が必要である。
H31	具体化した行動予定	☐ 対象児童生徒の各種「個別の支援・指導計画」の作成・実施 継続的な見直し
	達成状況	
H32	目標	☐ 対象児童生徒の各種「個別の支援・指導計画」の作成・実施 継続的な見直し
	達成状況	

【成果指標】 個別の指導計画の作成割合

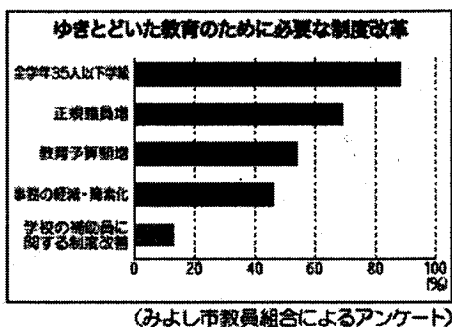
(市教育支援センターによる調査)

基準年 (H26)	H29 調査	H30 調査	目標 (H32)
日本語指導が必要な児童生徒使用：－ 不登校傾向の児童生徒使用：－	日本語指導が必要な児童生徒使用：100% 不登校傾向の児童生徒使用：100%	日本語指導が必要な児童生徒使用：100% 不登校傾向の児童生徒使用：100%	日本語指導が必要な児童生徒使用：80% 不登校傾向の児童生徒使用：80%

※障がいのある子ども、日本語指導を必要とする子ども、不登校傾向の子ども、それぞれに対する個別の指導計画作成は、100%を維持している。

作戦①

一人一人が良さを発揮できる学校づくりをします



少人数学級になって、毎日の生活日記に丁寧に目を通してもらえるようになりました。全学年での早期実現を強く望んでいます。
(行政区ヒアリングより)



現状と課題



少人数学級編制については、国が小学1年生を、県が小学校2年、中学校1年でいわゆる35人学級を実施し、本市では、義務教育全ての学年での少人数学級実現を目指し、平成23年度より小学校3年生で、平成28年度より中学校2年生、平成29年度からは中学校3年生に順次拡大を図っています。

学級規模を小さくすることで、より一人一人に目が行き届くようになり、学習面に加え生活面でもきめ細かい指導が可能となります。

保護者の全学年での少人数学級実現への期待も年々大きくなっています。

重点 施策

小中学校少人数学級体制の拡大

（施策体系1-5-(1)よりP56）

【施策の概要】

小学校1年生から中学校3年生までの、全ての学年での少人数学級体制の早期実現を目指します。まずは、平成32年までに、現行の小学校1年生から3年生まで、中学校1年生に加え、小学校4年生と中学校2年生に少人数学級を設置します。

また、少人数学級を活用したより効果的な指導について研究し、実践します。

【進行計画】

拡充	28	29	30	31	32
全学年での少人数学級体制の実現	少人数指導を活用した指導方法についての研究・実践				
	中2追加実施	中3追加実施	→	全学年実施	更なる拡大にむけた検討 少人数学級の利点を生かした効果的な指導の研究・検討

【成果指標】35人以下学級を実施している学年（学校教育課による調査）

現状 (H26)
小学生 1・2・3年
中学生 1年



目標 (H32)
小学生 1・2・3・4年
中学生 1・2年
全学年実施

※35人学級体制の学年を拡大すると共に、少人数でのより効果的な指導について研究・実践します

【達成状況】

重点施策		小中学校少人数学級体制の拡大
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 中学校2年生での35人学級を実現させたことで、三好丘中学校が、38人学級×6クラス⇒32（33）人学級×7クラスになった。 ・学級規模が小さくなったことで、担任の先生は一人一人に目が届き、きめの細かい指導が可能になった。
H29	達成状況	☐ 中3での35人学級を実現させたことで、三好丘中学校の3年生が、38・39人学級×6クラス⇒33人学級×7クラス になった。 ・学級規模が小さくなったことで、担任の先生は一人一人に目が届き、きめの細かい指導が可能になった。 ☐ 新しい学習指導要領のキーワードとなる「主体的・対話的で、深い学び」の実現を目指し、少人数の良さを生かしながら実践を重ねている。
	行動予定	☐ 小学4、5、6年生の35人学級実現に向けて、必要となる人員、教室、備品等の教育環境整備を進める。 ☐ 少人数指導を活用した指導方法についての研究・実践を継続し、少人数指導のメリットについて具体的にまとめる。
	達成状況	☐ 一人一人に目が届き、きめの細かい指導が実施できている。 ☐ 小学校4、5、6年生への少人数学級編制実現に向けた教職員の確保と教育環境整備への目途が立ったことから少人数学級編制の拡大を図るために必要な予算計上を行った。
	学級編制者の意見（点検評価）の分析 H31に向けた改善	☐ 少人数学級編制は、教員にとって児童・生徒の多様なニーズの応えるためにも最も重要な施策の一つであり、さらなる少人数学級編制の拡大への実施の可能性についての検討が必要
H31	具体化した行動予定	☐ 小学校4、5、6年生での少人数学級編制の追加実施
	達成状況	
H32	目標	☐ 更なる拡大に向けた検討
	達成状況	

【成果指標】 35人以下学級を実施している学年

（学校教育課による調査）

基準年 (H26)	H28	H29	H30	H31（予定）	目標 (H32)
小 123年 中 1年	小 123年 中 12年	小 123年 中 123年	小 123年 中 123年	小 123456年 中 123年	小 1234年 中 12年

※当初目標を大幅に上方修正し、平成31年度から全ての学年での35人学級実現を目指していく。

作戦⑫

安心・安全・快適な学校環境づくりを進めます



現状と課題



みよし市の小中学校の建物は、全て耐震化の対策が済んでおり、万が一、大きな地震が起こっても対応できるようになっています。

しかし、学校によっては築後30～40年の校舎もあるため、床の傷みや設備の老朽化などの課題があります。

そこで、みよし市では、平成14年度の北部小学校をスタートに、順次校舎の改修を進めています。子どもが、安心・安全で快適な学校でのびのびと生活ができるよう、学校施設の改修が求められています。

市内各校の校舎の建設・改修の状況

中 部 小	昭和62年建設
北 部 小	平成14～17年改修
南 部 小	平成元年改修
天 王 小	平成25～27年改修
三 吉 小	昭和55年建設
三 好 丘 小	平成元年建設
緑 丘 小	平成8年建設
黒 世 小	平成19年建設
三 好 中	平成20～24年改修
北 中	昭和56年建設
南 中	昭和58年建設
三 好 丘 中	平成18年建設

重点 施策

大規模改修による学校施設の整備

〔施策体系〕-6-(2)ア2P50〕

【施策の概要】

老朽化した小中学校の校舎の大規模改修や、体育館照明のLED化を順次進めていきます。時代に合った設備に刷新すると共に、バリアフリー化や省エネルギー化も進めます。また、内装材には木製品を多く使うようにするなど、子どもが温もりを感じられる学校環境の整備を推進していきます。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
拡充 小中学校の施設 の計画的な改修	・北中学校大規模改修 ・体育館照明LED化 (5校完了)		→	・三吉小学校大規模改修	→

【成果指標】「学校施設が安心・安全・快適である」児童生徒の割合

(みよしの教育に関するアンケート【小5・中2】)

現状 (H26)
小学生 84%
中学生 70%



目標 (H32)
小学生 87%
中学生 75%

※子どもが安心・安全・快適な学校環境だと感じられるよう、きめ細かな改修とともに、大規模改修を推し進めます

【達成状況】

重点施策		大規模改修による学校施設の整備
担当課		教育行政課
H28	達成状況	☐ 夏季休業期間を中心に6月から1月末までかけて南舎（管理棟）・武道場の大規模改修を実施し、老朽化した施設の長寿命化とトイレのドライ化、洋式化を進めることができた。 ☐ 学校現場の要望も踏まえ、平成29年度に実施する2期工事（北舎：普通教室棟・技術課室棟・体育館）の設計を行うことができた。
H29	達成状況	☐ 北中学校大規模改修2期工事（北舎：普通教室棟・技術科室棟・体育館）の契約を5月に交わし、1月末までに工事を実施した。 ☐ 北中学校大規模改修3期工事实施設計（プール・外構）の業務委託の契約を5月に交わし、1月末までに設計を行った。
H30	行動予定	☐ 北中学校大規模改修3期工事（プール・外構）の実施 ☐ 三吉小学校大規模改修1期工事实施設計業務委託（体育館・プール・外構）の実施
	達成状況	☐ 北中学校大規模改修3期工事（プール・外構）の契約を6月に交わし、1月末までに工事を実施した。 ☐ 三吉小学校大規模改修1期工事实施設計業務委託（体育館・プール・外構）の業務委託の契約を4月に交わし、2月下旬に設計を完了。
	学識経験者の意見（点検評価）の分析 H31に向けた改善	・夏の猛暑・酷暑をふまえ、普通教室に加え特別教室にもエアコンを設置し、快適な学習環境の整備を目指していく予定。 ・今後も教育環境の充実を目指して大規模改修工事等による施設整備を計画的に進める。
H31	具体化した行動予定	☐ 三吉小学校大規模改修1期工事（体育館・プール・外構）の実施 ☐ 三吉小学校大規模改修2期工事实施設計（南舎：管理棟）の実施
	達成状況	
H32	目標	☐ 三吉小学校大規模改修2期工事（南舎：管理棟）の実施 ☐ 三吉小学校大規模改修3期工事实施設計（北舎：普通教室棟）の実施
	達成状況	

【成果指標】「学校施設が安心・安全・快適である」児童生徒の割合

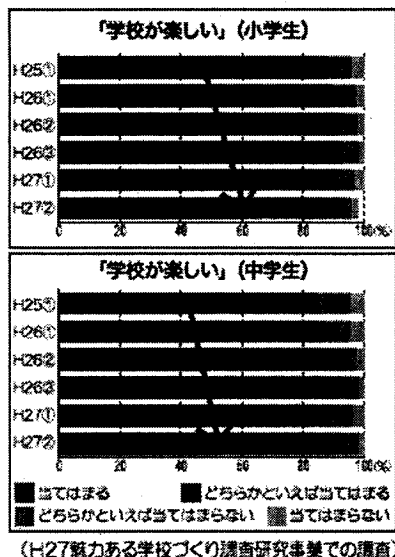
（みよしの教育に関するアンケート【小学生・中学生】）

基準年（H26）	H29 アンケート	H31 アンケート	目標（H32）
小学生 84 % 中学生 70 %	小学生 84 % 中学生 81 %		小学生 87 % 中学生 75 %

※北中学校、三吉小学校の大規模改修が進んだことが、児童生徒の満足度にどのくらい表れるのかを来年度のアンケートで確認し、検証していく。

作戦⑬

12校が「チームみよし」となりパワーアップします



現状と課題



みよし市では平成26・27年度に、文部科学省から委嘱を受け、「魅力ある学校づくり調査研究事業」に取り組みました。これは、中学校区内の全小中学校が連携を密にし、地域全体で笑顔あふれる学校づくりをしていこうとする取り組みです。

この取り組みの結果、学校間が連携をして指導にあたることで、教職員の力量向上や楽しい学校づくり、新たな不登校の子どもを出さないことに対し、効果があることがわかりました。これらの取り組みを市内全12校(小学校8校・中学校4校)に広げ、学校が楽しいと思う子どもを増やすことが期待されています。

重点 施策

12校の連携強化による教職員の資質向上

【施策体系】-6-(3)ア P62】

【施策の概要】

まずは、中学校区を中心に小・小・小中学校間が連携をすることで、発達段階に応じた連続した指導ができるようになったり、教職員自身の学び合いによる資質向上を目指したりします。教職員同士が学び合い、全12校の学校同士がつながることで、子ども理解の深化や指導力の向上を図り、学校が楽しいと思う子どもを増やします。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
「チームみよし」を合言葉とした学校間連携の強化	各中学校区での連携の強化	→	校務支援システム内に教育情報を集約し、連携を強化	→	12校での連携の強化

【成果指標】「学校に行くのは楽しい」児童生徒の割合

(全国学力・学習状況調査【小6・中3】)



【達成状況】

重点施策		12校の連携強化による教職員の資質向上
担当課		学校教育課
H28	達成状況	☐ 三好丘中学校区では、中学校区の3校が連携し、人権教育に総合的に取り組んだ。小中学生が一緒にあいさつ運動に取り組んだり、人権啓発標語の書かれたのぼりを作成して地域にもPR活動をしたりした。 ☐ 校務支援システムを活用して、自校で行われる研究授業を他校に紹介し、参観者を募るなど、学校間の連携が進んだ。 ☐ 三好中学区での連携が継続し、南中学校区でも取り組みが始まった。
H29	達成状況	☐ 三好中学校区による連携を継続し、強化を進めた。 ☐ 三好丘中学校区で、小中合同あいさつ運動や部活動交流会など、小中連携活動を充実させた。 ☐ 市教育センターを開設に伴い、各校の研究物や文部科学省が作成した資料をライブラリに整理した。
H30	行動予定	☐ 各校の実践や研究資産を市内小中学校で共有 ・各中学校による小中、小小による連携活動を市内に広める。 ・校務支援システムで各中学校区での取り組みを市全体に広げる。 ☐ 市教育センターライブラリに収蔵されている資料のリストを作成し、校務支援システムにより教職員に周知を図る。
	達成状況	☐ 各校の実践や研究資産を市内小中学校で共有 ・各中学校区の連携が養護部会、生徒指導部会等で推進された。 ・校務支援システムで各校の授業実践についての資料を共有した。 ☐ 市教育センターライブラリに収蔵されている資料のリストを作成し、校務支援システムにより教職員に周知。
	学識経験者の意見 (点検評価)の分析 H31に向けた改善	・授業実践に関する資料を「指導案等アーカイブ」として校務支援システムに保存し、教職員が自由に閲覧、活用できるようにする。
H31	具体化した行動予定	☐ 教職員同士が得意分野を生かした自主研修(みよし教師塾)を行うなど、学校を越えた連携を深める。
	達成状況	
H32	目標	☐ 12校での更なる連携強化を目指す。
	達成状況	

【成果指標】「先生は、自分のよいところを認めてくれている」と思う児童生徒の割合 (全国学力・学習状況調査)

基準年(H26)	H28	H29	H30	H31	目標(H32)
小 86.1% 中 76.4%	小 85.4% 中 81.9%	小 86.8% 中 79.1%	小 85.7% 中 78.8%		小 90.0% 中 80.0%

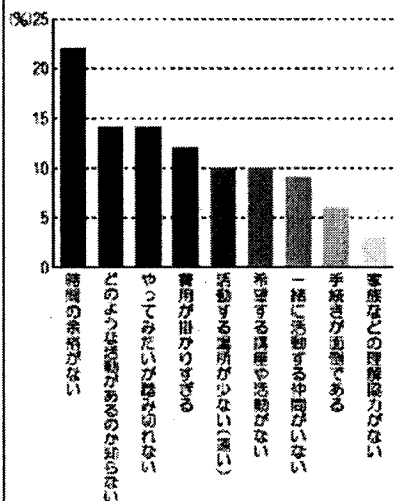
※全国学力・学習状況調査の質問紙調査の項目が変更されたため、成果指標を改めました。

※平成30年度から成果指標を改めたので、次年度から経年変化を分析・検証し、成果を確認していく。

作戦⑭

サンライブでいろいろなることが学べるようにします

生涯学習をしたいと考えた時に問題となること



(H26みよしの教育に関するアンケート(市民))

現状と課題



みよし市では、市民一人一人が、生涯を通して生きがいをもって学ぶことのできる場や機会を充実させるために、図書館学習交流プラザ「サンライブ」を拠点に、幅広い分野にわたる生涯学習講座を開催しています。

人生100年時代を迎え、最新の社会情勢と市民のニーズに即した生涯学習事業を展開していくため、多様な生涯学習講座の開催を通じ、誰もがいつでも学べる環境づくりの推進が求められています。

そのため、講座の開催時間や講座の対象者に柔軟性を持たせるなど、生涯学習機会の提供方法等の検討を進める必要があります。

重点 施策

サンライブの生涯学習拠点化の推進

[施策体系Ⅱ-1-(1)ア P66]

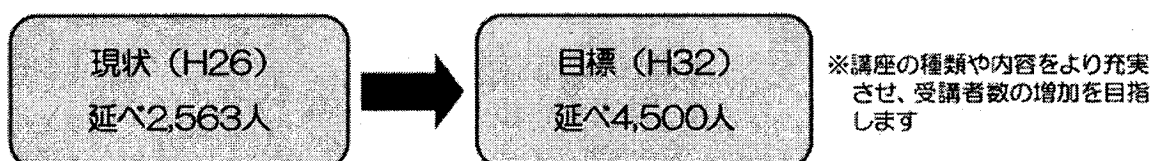
【施策の概要】

平成28年度にオープンするサンライブでは、夜間や土曜日・日曜日などの講座の開催も可能となります。年齢や性別に関わらず、学習意欲のある人々が、自分にあった講座に参加できるよう、生涯学習情報を市民に広く伝え、市民の生涯学習を活性化していきます。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 生涯学習講座の 充実	サンライブでの 生涯学習講座 の開始	夜間講座の 充実	土曜日・日曜日 の講座の充実	講座体系の 見直し	新たな体系に よる運営

【成果指標】生涯学習講座を受講した人の数(生涯学習課調べ)



【達成状況】

重点施策		サンライズの生涯学習拠点化の推進
担当課		生涯学習推進課
H28	達成状況	☐ 7月2日に図書館学習交流プラザ「サンライズ」を開館し、生涯学習講座をサマースクールから開講した。 ・年間の講座としては、春夏講座22講座・サマースクール11講座・秋冬講座59講座・新春講座55講座を開講し、2,309人が受講した。
H29	達成状況	☐ 生涯学習講座を、公開講座2講座、生活創造講座84講座、国際理解講座37講座、情報・通信講座60講座、合計183講座を開催した。 ☐ 夜間や土曜日に43講座を開催し、生涯学習機会を増やし、勤労者の生涯学習を支援した。
H30	行動予定	☐ 生涯学習講座を、公開講座2講座、生活創造講座を97講座、国際理解講座を33講座、情報・通信講座60講座、合計192講座を予定している。 ☐ 夜間や土曜日、日曜日に講座を開催することにより、より参加しやすい生涯学習講座にする。
	達成状況	☐ 生涯学習講座を、公開講座2講座、生活創造講座を77講座、国際理解講座を39講座、情報・通信講座72講座、合計190講座を開催する。 ☐ 夜間や土曜日に45講座を開催し、生涯学習機会を増やし、勤労者の生涯学習を支援する。
	学識経験者の意見 (点検評価)の分析 H31に向けた改善	☐ 次年度にサンライズ全体の管理運営についてのあり方を検討するなかで、生涯学習講座の運営等についても検討する。
H31	具体化した行動予定	☐ 講座体系・運営体制の見直し。
	達成状況	
H32	目標	☐ 新たな体制による運営。
	達成状況	

【成果指標】 生涯学習講座を受講した人の数

(生涯学習推進課調べ)

基準年(H26)	H28	H29	H30	H31	目標(H32)
延べ 2,563人	延べ 2,450人	延べ 2,328人	延べ 2,193人		延べ 4,500人

※H31年度に生涯学習講座を含めたサンライズの管理運営のあり方について検討する。

作戦⑬

市民が発信する生涯学習活動を応援します

平成27年度 市内で活動する生涯学習活動登録団体

- ・渡辺民謡会
- ・演劇グループ遊
- ・西川流百花の会
- ・愛友クラブ
- ・みよし大正琴クラブ
- ・たまゆら
- ・居合道クラブ
- ・樊孟孫式太極拳研究会
- ・三好健康太極拳
- ・筑紫丸和会
- ・和太鼓龍桜流 三燦
- ・みよし子ども音楽セミナー「音遊合唱団」
- ・天辰神容流剣詩舞会
- ・天辰神容流岡崎神容館みよし詩吟部
- ・和太鼓龍桜流 轟乃鼓
- ・みよし塚本写真塾
- ・バッチワークサークル

現状と課題



みよし市では、生涯学習講座などで出会った市民が、気の合う仲間と共に自主的に活動する生涯学習活動団体を作り、スポーツから伝統工芸まで幅広い分野で活動を展開しています。

これらの団体が成果を発表できる場を準備したり、継続して活動できるよう支援をしたり、団体を作りたいと思っている人たちを応援したりすることで、市民が発信する生涯学習活動を活性化することが求められています。

重点 施策

地域や自主的サークルによる生涯学習の推進

〔施策体系Ⅱ-1-(1)イP66〕

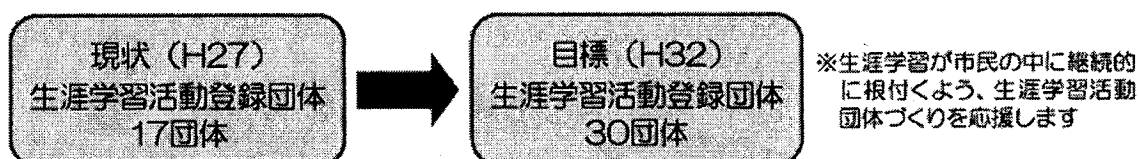
【施策の概要】

生涯学習団体が継続して活動できるよう支援をしたり、生涯学習を積極的に推進する地区や新たに団体活動始める市民の自主的サークルを助成したりします。また、それらの団体が学習成果を発表できる機会をつくったり、団体の活動を市民に広く伝えたりすることで、市民主体の生涯学習活動を活性化します。

【進行計画】

	28	29	30	31	32
新規 生涯学習活動団体への支援	生涯学習活動団体への助成	→	学習成果の発表方法の充実	生涯学習活動団体の広報	→

【成果指標】生涯学習活動を行っている団体の数（生涯学習課調べ）



【達成状況】

重点施策		地域や自主的サークルによる生涯学習の推進
担当課		生涯学習推進課
H28	達成状況	☐ 生涯学習活動団体として7団体へ助成し、各団体特色ある講座を開講した。 ☐ 生涯学習発表会を3月4日(土)、5日(日)に開催し、472人が参加した。
H29	達成状況	☐ 生涯学習活動団体として7団体へ助成し、各団体特色ある講座を開講した。 ☐ 生涯学習発表会を3月2日(土)、3日(日)に開催する予定である。
H30	行動予定	☐ 生涯学習の普及、促進を目的に、生涯学習活動を積極的に推進する団体等に、活動費用の一部を助成する。 ☐ 生涯学習に取り組む団体等に、活動の成果を発表する機会を提供するため、生涯学習発表会を開催する。
	達成状況	☐ 生涯学習活動団体として5団体へ助成し、各団体特色ある講座を開講した。 ☐ 前年度の開催場所を見直し、生涯学習発表会を2月23日(土)から3月3日(日)まで開催。
	学識経験者の意見 (点検評価)の分析 H31に向けた改善	☐ 生涯学習の普及、促進を目的に、生涯学習活動を積極的に推進する団体等への助成方法を見直した。
H31	具体化した行動予定	☐ 生涯学習活動団体への助成。 ☐ 生涯学習発表会を実施予定。 ☐ 生涯学習活動団体の広報。
	達成状況	
H32	目標	☐ 生涯学習活動団体への助成。 ☐ 生涯学習発表会を実施予定。 ☐ 生涯学習活動団体の広報。
	達成状況	

【成果指標】生涯学習活動を行っている団体の数

(生涯学習推進課調べ)

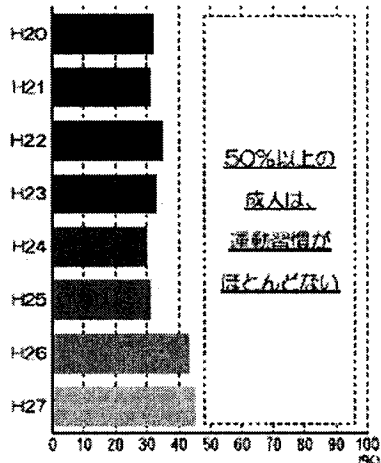
基準年(H26)	H28	H29	H30	H31	目標(H32)
生涯学習活動 登録団体数 17	生涯学習活動 登録団体数 14	生涯学習活動 登録団体数 15	生涯学習活動 登録団体数 16		生涯学習活動 登録団体数 30

※前年度より1団体増加しているが、目標値の30団体を達成するためには、一層の支援強化が必要であり、団体等への助成方法を見直す。

作戦⑬

市民がいろいろなスポーツに親しめるようにします

週1回以上定期的に
スポーツ活動を行った成人（みよし市）



（スポーツ活動に関するアンケート調査）

現状と課題



全国的に、子どもの体力は低下傾向にあり、スポーツを行う子どもと、行わない子どもは二極化の傾向にあります。

これは本市の大人にもいえることであり、ランニングやチームスポーツに日頃から親しむ市民がいる一方、運動習慣のほとんどない成人も50%以上います。

みよし市では、地域全体でスポーツに親しむ環境を整備し、みんなで心身の健康を高めていくことが求められています。市民が生涯にわたり健康な暮らしを送るため生涯スポーツ推進の必要性が高まっています。

重点 施策

総合型地域スポーツクラブの育成

〔施策体系〕一2一（1）ア P67

【施策の概要】

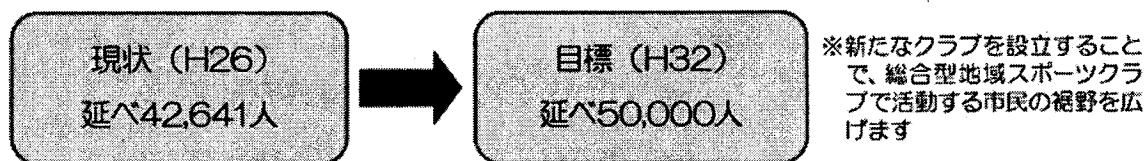
スポーツ推進計画「みんなでスポーツ いいじゃんみよし」に基づき、スポーツ活動の支援や、スポーツを通じたコミュニティづくりを行っています。総合型地域スポーツクラブに関しては、現在、「なかよしクラブ」と「三好さんさんスポーツクラブ」の二つのクラブが活動しています。今後は、きたよし地区での新たなクラブ設立と活動を支援し、市民がスポーツに親しむ機会を増やしていきます。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
総合型地域スポーツクラブの支援と環境整備	きたよし地区スポーツクラブの設立	小中学校とスポーツクラブの連携強化	クラブマネージャーなどの資格取得に対する支援	活動拠点となる小中学校の屋外照明設備の設置	小中学校の部活動の支援

【成果指標】総合型地域スポーツクラブで活動した人の数

（スポーツ行政概要）



【達成状況】

重点施策		総合型地域スポーツクラブの育成
担当課		スポーツ課
H28	達成状況	☐ 6月18日総会開催三好ともいきスポーツクラブを設立した。 ・第4回設立準備会を開催。平成27年度事業報告・収支決算及び平成28年度事業計画・収支予算を承認した。 ・第5回設立準備会を開催。準備会規約の廃止を承認、準備会を解散した。
H29	達成状況	☐ 中学校部活動支援として、なかよしクラブではソフトテニス、三好さんさんスポーツクラブではバレーボールをそれぞれ受け入れた。 ☐ 市内3総合型地域スポーツクラブに対して、それぞれ運営補助金を交付。またあわせて、三好さんさんスポーツクラブにはクラブハウス整備費補助金を交付し、クラブの円滑な運営を支援した。
H30	行動予定	☐ 市内3総合型地域スポーツクラブによる、レクリエーションスポーツフェスタ等のスポーツイベントへの協力及び事業PR
	達成状況	☐ みよしレクリエーション・スポーツフェスタ2018において、市内3総合型地域スポーツクラブによるニュースポーツ等のデモンストレーション及び事業PRを実施した。
	学識経験者の意見 (点検評価)の分析 H31に向けた改善	☐ 平成30年度の行動予定については達成済
H31	具体化した行動予定	☐ 小中学校の屋外照明設備の設置についてスポーツクラブと小中学校と協議を行う。
	達成状況	
H32	目標	☐ 小中学校の部活動支援を行う。
	達成状況	

【成果指標】 総合型地域スポーツクラブで活動した人の数

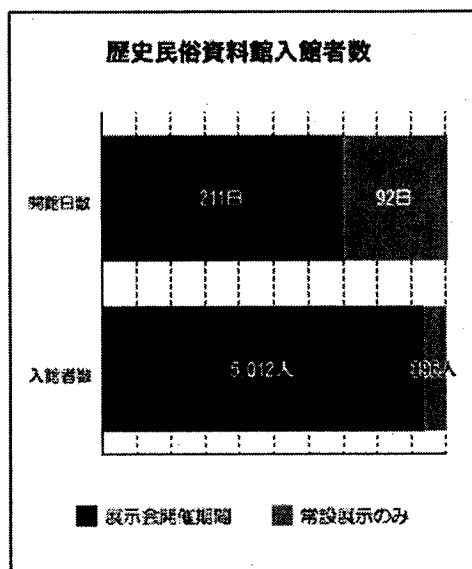
(スポーツ行政概要)

基準年(H26)	H28	H29	H30	H31	目標(H32)
42,641人	51,003人	51,815人	55,153人		50,000人

※年度終了時に集計を行うため、現時点では未集計。次回の委員会の中で結果を報告する。

作戦⑪

みよしの歴史や文化を広く市民に発信します



(H26歴史民俗資料館調べ)

現状と課題



歴史民俗資料館では、常設展示をリニューアルしたことで、猿投古窯関係の展示がいつでも見学できるようになりました。また、民具については、季節により一部入れ替えを行って展示し、常設展に変化をつけています。

入館者数は、リニューアル後は微増していますが、依然伸び悩んでいる状況です。

このため、今後も本市の歴史や文化を広く発信していく必要があります。

重点 施策

歴史民俗資料館展示資料の充実

〔施策体系Ⅱ-3-(1)アP70〕

【施策の概要】

歴史民俗資料館の常設展示をリニューアルし、猿投古窯関係の展示を、開館時にいつでも見学できるようにします。民具についても展示物を更新し、歴史の移り変わりなど、みよしの歴史や文化を学習できるようにします。また、企画展・特別展についても郷土の偉人・文化・民俗・考古などさまざまなテーマで充実していきます。

【進行計画】

新規	28	29	30	31	32
歴史民俗資料館 常設展示の更新	展示室 リニューアル 工事	展示室 リニューアル オープン	—	市制施行10周年 記念事業準備	市制施行10周年 記念事業

【成果指標】みよし市の歴史に関心のある市民の割合

(みよしの教育に関するアンケート【市民】)

現状 (H26)
有数の陶器産地であった
ことを知っている27%



目標 (H32)
有数の陶器産地であった
ことを知っている60%

※展示のリニューアルなどで資料館に訪れる人を増やし、市民の歴史に対する関心を高めます

【達成状況】

重点施策		歴史民俗資料館展示資料の充実
担当課		資料館
H28	達成状況	☐ 展示リニューアル業務委託により、2階展示室を改修し、ひな人形展を開催した。(1月～3月)。常設展示室を3月末にリニューアル。 ・リニューアルオープンチラシ・パンフレットの作成 ☐ 古窯を理解してもらうため出張授業の説明(2校で開催)
H29	達成状況	☐ 企画展(「みよし最後のやきもの」、「昆虫展」、「ひな人形展」)並びに特別展「伊勢門水展」を開催した。 ☐ 石川家住宅で「夏まつり」「町なかアートギャラリー」を開催。3月「クイズラリー」を開催予定。 ☐ 資料館のリニューアルを記念して、古窯に関する講演会並びに「手回しロクロ」・「大甕」・「灰釉陶器」以上3種類の陶器づくりの講座を開催した。
H30	行動予定	☐ 企画展(3回)、特別展(1回)を開催する。 ☐ 常設展示で新たに「むかしの道具」に関連したテーマ展示を計画し実施する。 ☐ 夏季に土器作り・石器作り体験講座を開催する。 ☐ 夏季に土器形クッキー(ドッキー)作りの体験イベントを開催する。 ☐ 市指定文化財である黒笹27号窯を含む市内文化財めぐりを実施する。
	達成状況	☐ 企画展3回(猿投古窯×陶芸、色から見たみよしのやきもの、ひな人形展)、特別展1回(のぞいてみよう世界の民俗仮面)を開催した。 ☐ 常設展示で新たに「むかしの食卓」に関連した展示を計画し実施した。 ☐ 夏季に土器作りと石器作り体験講座を各2回開催した。 ☐ 夏季に土器型クッキー(ドッキー)作りの体験イベントを開催した。 ☐ 市指定文化財の黒笹27号窯や、福谷城跡・石川家住宅などを回る文化財めぐりを実施。
	学識経験者の意見(点検評価)の分析H31に向けた改善	☐ 新たな視点による企画展・特別展の開催に合わせ、参加体験型の関連イベントや、県内の他の資料館と連携したスタンプラリーを開催するなど、入館者が郷土の歴史や伝統文化、民俗資料などに触れる機会を設けます。
H31	具体化した行動予定	☐ 市制施行10周年記念事業準備 ・土器作り・石器作りの体験講座及び土器型クッキー(ドッキー)作り体験イベントを開催。 ・市指定文化財の黒笹27号窯・石川家住宅を含む市内文化財めぐりの実施。 ・灰釉陶器づくり体験講座を夏季と秋季に開催。 ・常設展示の中で民俗資料や昔の道具などにかかるテーマ展示を実施。
	達成状況	
H32	目標	☐ 市制施行10周年記念事業
	達成状況	

【成果指標】 みよしの歴史に関心のある市民の割合

(みよしの教育に関するアンケート【市民】)

基準年(H26)	H29 アンケート	H31 アンケート	目標(H32)
有数の陶器産地であったことを知っている 27%	有数の陶器産地であったことを知っている 33%		有数の陶器産地であったことを知っている 60%

※情報発信を続ける中、体験講座や各種イベントに参加する市民が増えてきている。今後も、様々な企画を計画し、みよしの歴史への興味を喚起していく。